

町内会連合会だより

発行責任者

会長 升澤博也

発行所

〒034-8615 十和田市西十二番町6-1
十和田市町内会連合会

事務局

外郭団体事務室
☎(51)6783

会長あいさつ

町内会加入促進を目指して



十和田市町内会連合会
会長 升澤博也

町内会の会員各位におかれましては、今年こそはと胸をふくらませ、それぞれの地域にふさわしい町内会を夢みて、頑張っていることと思います。

しかし、少子高齢化社会が急速に進むなか、町内会活動に大きな影響が心配されます。

さらに、開発地域にみられる振興住宅地に町内会が組織されていない地域が散見されています。また、町内会が組織されている地域においても、アパートに入居した人、新たに住居を購入しても加入していない世帯など、さまざまな状況がある

と考えています。

今後、町内会の将来を考え、十和田市で生活されている世帯の皆さんへ町内会加入を積極的に呼びかけていきたいと思えます。

本年度、7月に町内会加入促進に向けて、市と町内会連合会が連携して、青森県宅地建物取引業協会三十むつ支部、全日本不動産協会青森県本部と協定を締結することができました。

町内会は、ゴミ問題・交通安全・防犯・防災など会員と共有し、今後も住み続けたい「協働のまちづくり」を目指して活動を展開していきます。

そして、この締結を契機にさらに情報を共有し、連携を取りながら町内会連合会のスローガンである「みんなで創る地域の底力」を確認し、一致団結して頑張っていきますので、会員の皆様からご指導ご協力をお願いします。

防災運動会について 委員 服部 玄気

今回の防災運動会は、北園小学校4年生の皆様に参加していただき「親子レクリエーション」という形で開催することができました。防災運動会開催にあたりご協力いただいた4学年委員会の皆様と十和田消防署の皆様には深く感謝しております。

若い世代の方々の町内会活動への関心が減ってきている今、町内会活性化検討委員会では、どうしたら若い世代の方たちと町内会という組織との距離を縮められるかということを中心課題として話し合ってきました。町内会の大きな役割でもある防災、自助・共助をテーマとした企画に子育て世代の若い方々に参加してもらうのはどうか。ということになり企画されたのが防災運動会です。

開催当時は、町内会別に整列し、開会式と準備運動を行いました。自分が所属する町内会を初めて知ったという方も多数見られ、あらためて町内会の認知度の低さを痛感させられた部分もありました。

消火器訓練・火災時の煙への対応・災害時持っている役立つ日用品集め・タオルとラップによる応急処置・こまかいドーム内の消防設備探し・心臓マッサージ&担架搬送・消防車綱引きなど、趣向を凝らした競技の数々に子供たちはもちろん保護者の方々も大満足の日となりました。

今回の防災運動会は町内会にとっては、地域に住んでいる子育て世代の皆様と関わりとても貴重な機会となりました。参加された皆様には、町内会という組織があることやその活動意義などを知ってもらえる良い機会になったかと思えます。



部会の動き

総務部会

部会長 太田 薫



市町連HPの解説

リアルタイムで情報をキャッチ!!

今年度は「目標の実践を目指して」7つの取り組みをしてきました。紙面の都合上、詳細に経過説明は出来ませんが重点的に掲げた事項の経過を報告をします。

1、市と町内会との懇談会について

- ・市側の提案としては「市長への要請テーマ」の設定は1ヶ月以上早めて欲しい。
- ・次年度の方向性として、継続要望は提出しなくても自動的に継続。優先順位は、継続要望が一番となり、新規要望は二番となる。

2、加入促進のチラシやガイドブック作成

- ・どこの町内会でも会員が減ってきている。退会防止も含めて若い世代、リーダーの入会を図る。4月に運営ガイドブック発行済みですが今後、見直しも検討していきたい。また、市のホームページにも掲載する。

3、町内会活性化検討委員会について

- ・若いリーダーの入会、育成を目的とした新規事業（2年経過）。本年11月には第1回防災運動会の実施。北小4年生学年レクとマッチングして、小規模の実施でしたが大成功に終わり、町内会の存在価値が認識された。

以上の活動目標に加えて、升澤会長が特に力を入れている取り組みとして ①会長と語る会の充実 ②協働のまちづくりの推進を図る。

総務部会では、掲げた目標達成のため、今後、十和田市でも力を入れているSDGs「地域づくりの推進」の項目に向かって取り組んでいきます。



スマホ入門・LINEとは！の研修会

交通安全福祉部会

部会長 舩甚 英文



交通安全！福祉！

最近、自転車に乗る人がヘルメットを被るのを目にしますが、令和5年4月1日からすべての自転車利用者に乗車用ヘルメットの着用の努力義務が課されております。身を守る手段としては大切なことだと思っておりますので、ご協力をお願いします。

また、横断歩道での車の一時停止はかなり改善されていますが、歩行者が渡るかどうか、よく分からないと言われております。令和3年4月に「交通の方法に関する教則」が改正され、「道路を横断する時は手を上げるなどしてドライバーに横断意思を伝えること」が明記されました。皆さんも



「今から渡りますよ」という意思を示す“ハンドサイン”をお願いします。

スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠であるため、2回目となる町内会親睦パークゴルフ大会を10月に開催しました。「初心者でも楽しく参加できました。来年も参加したい。」など嬉しい声が届きました。

交通安全と福祉の2つを軸にして来年度も事業を推進してまいりますので、ご協力をお願いします。



サンタでトワイライト作戦

防災安全部会

部会長 土嶺 俊夫



繰り返しが大切!!

地域密着型防災訓練は、今年度で3回目となり、9月17日(日)に藤島町内会を対象とした訓練を実施しました。

新たな試みとして避難誘導訓練（車椅子使用し避難先へ避難誘導）は、実際に車椅子の方を車へ乗せましたが、非常に大変なことでした。ケガをさせないようにまた、転ばないようにコツをつかむまで汗を掻きながら何回も訓練をしました。

また、新しくプロジェクターを使用して、市の

防災危機管理室と消防本部の協力の基に「水災害の時の備え」や「火災から命を守る方法」を学びました。

参加した皆さんからは、「この訓練をやって良かった」と言葉をいただき、この地域密着型防災訓練を実施して良かったと改めて思いました。

11月28日(火)に消防本部で防災安全部会を中心に普通救命講習会を受講しました。胸骨圧迫や人工呼吸、AEDの使い方など「心肺蘇生法」、新型コロナウイルス感染症を踏まえた

「救急蘇生法」や応急手当なども含め3時間程学びました。



過去に避難訓練や救命講習を受講したことがあっても、時とともに身につけたことを忘れてしまわないためにも訓練と受講は必要です。いざという時のために…。



地域密着型防災訓練

環境衛生部会

部会長 成田 誠



令和5年部会活動の総括

今年も我が部会の活動は5月27日の花苗配布から始まりました。マリーゴールドの育成は良く元気な苗を80町内会に配布できました。花の種に関しては“発芽が難しい”との声もあり、アンケート結果を基に部会で話し合い廃止といたしました。

ゴミ収集箱の新設、修繕に関しては前年に見送りとなった町内会を優先とし、修繕で出された物件はゴミ箱の長期使用につながるの、できるだけ「応える」ようにしています。まずは期間内に申請するようお願いします。

「まちなか美化活動」は2年目となり、前回の反省を活かして参



加団体、人数も大分増え当日は作業の説明や注意事項を“しっかり”伝えて4班に分け班長の役割や、交通事故に注意し、時間内に終わらせることができました。今後は商店街を巻き込んでの活動など課題もありますが活動は継続したい。今後とも各町内会のご協力よろしくお願いたします。



まちなか美化活動

町内会活性化検討委員会について

委員 竹ヶ原 拓美

町内会の加入率の低下や若い世代の町内会への参加意欲の低下は、地域の結束力や防災意識の向上に悪影響を及ぼす問題とされています。

この問題に取り組むために、昨年若手メンバーが中心となって議論が行われ、新たなアプローチを模索してきました。そして低予算・短期間・人手が少ない状況で何が出来るかを本音で意見をぶつけ合いながら、防災運動会を行いました。

町内会の枠組みを超え、地域活動の“点”が結びつき、若者の参加と意識向上を目指すこの試みは、コミュニティ活動における新たな可能性を示せたと思います。

この事業は若手が議論してきたことから出来た

と思います。摩擦を恐れず議論することで熱が生まれ、その熱が大切だとこの委員会でも感じました。

町内会だけではなく、若者が主導する活動が増え、様々な団体と協力・理解を得る機会を作り出すことで、将来的には町内会加入率の向上や、若年層の参加意欲の高まりに繋がることを期待しています。



町内会活性化検討委員の皆さん

西小地域参観デー

六郷町内会 上坂 広

今年度から、市立西小学校にて地域の方々に学校の様子を見てもらいたいと、保護者はもとより祖父母等の家族、地域の皆さんに案内をし西小地域参観デーを開催しました。授業参観をおじいちゃん、おばあちゃん、又子供がいない地域の方も授業参観を見に来ていました。



公開授業は各教室にて参観を行ない廊下で授業を見ている様子に子供達は緊張する事も無く元気に授業を行なっていました。又授業終了後、体育館に於いて、全校児童による合唱やプロの演奏家の方と楽器演奏も行ない演奏家の方によるピアノ、バイオリン、チェロの演奏を堪能しておりました。地区外の方が多数参観デーに来ており、当日は天候が悪くても来て良かったと話していました。こんな機会が無いと孫の勉強しているようすを見ることや学習の環境が大変良くわかり、これからも

保護者だけでなく地域の方々が参加しやすい地域参観デーを開催してもらいたいと願っています。

世代をつなげる「ハロウィンパーティー」

南小稲町内会 会長 大西 良雄



町内会行事に参加する子供達が減少し、町内の活気が次第に薄れつつあるなか、子供会主催で10月29日(日)午後1時総勢60名を超える方の参加・協力により「南小稲ハロウィン2023」を開催しました。中高生がリーダーとなり若い人たちだけで企画会議を重ね、そして中高生がホス

ト宅(会長他7軒)を小さなこどもたちと一緒に回りました。集会所で飾り付け・こったり化粧・親子で仮装しお菓子ももらいにいざ出発。子供の声「トリック・オア・トリート」を聞くと思わず「ハッピーハロウィン」なんだか幸せな感じになりました。



十和田市 町内会連合会 ロゴマーク募集

町内会連合会では、自分たちのまちを住みよいまちにするために、地域の発展に取り組んでいます。そこで、市町内会連合会をPRし、認知度を向上させるため、シンボルとなるロゴマークを募集します。

募集期間：2月29日(木)

※詳しくはホームページをご覧ください。

〒100-0000 十和田市町内会連合会 ☎ 51-6783



ホームページ



編集後記

我が立崎町内会で、総会後の懇親会、そして最大にイベントである「神社祭り」を4年ぶりに開催し、各団体からの出し物等で盛り上がり、久しぶりに親睦と交流を深めあうことができました。

各町内会においてもコロナ感染も落ち着き、3年間のうっぶんを晴らすかのように今までの活動ができたことと思っています。

「町内会連合会だより」は市町連の活動や単位町内会での事業など幅広く紹介し「まちづくり」

を活性化しようとするものであり、今後も皆さんからの様々な情報提供をお願いしながら、それぞれの活動の参考にするような誌面づくりに頑張っていきたいです。(立崎)

- * 編集委員長 佐々木保信
- * 副編集委員長 立崎 享一
- * 編集委員 妻神 誠
- * 編集委員 起田 洋一
- * 顧問 太田 薫



編集委員の皆さん